



いくつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる

東京ホームタウン

プロジェクト TOKYO=HOMETOWN PROJECT

2019年度 地域団体向けプログラム等のご案内



東京都福祉保健局

企画・運営



特定非営利活動法人 サービスグラント

東京ホームタウンプロジェクトによる支援

地域包括ケアシステムの姿

病気になったら…

医療



- 病院
急性期、回復期、慢性期
- 日常の医療
 - ・かかりつけ医
 - ・有床診療所
 - ・地域の連携病院
 - ・歯科医療、薬局

相談業務やサービスの
コーディネートを行います。



- ・地域包括支援センター
- ・ケアマネージャー

住まい



- ・自宅
- ・サービス付き高齢者向け住宅など



- ・老人クラブ・自治会
- ・ボランティア・NPO など

いつまでも元気に暮らすために…

生活支援・介護予防

介護が必要になったら…

介護



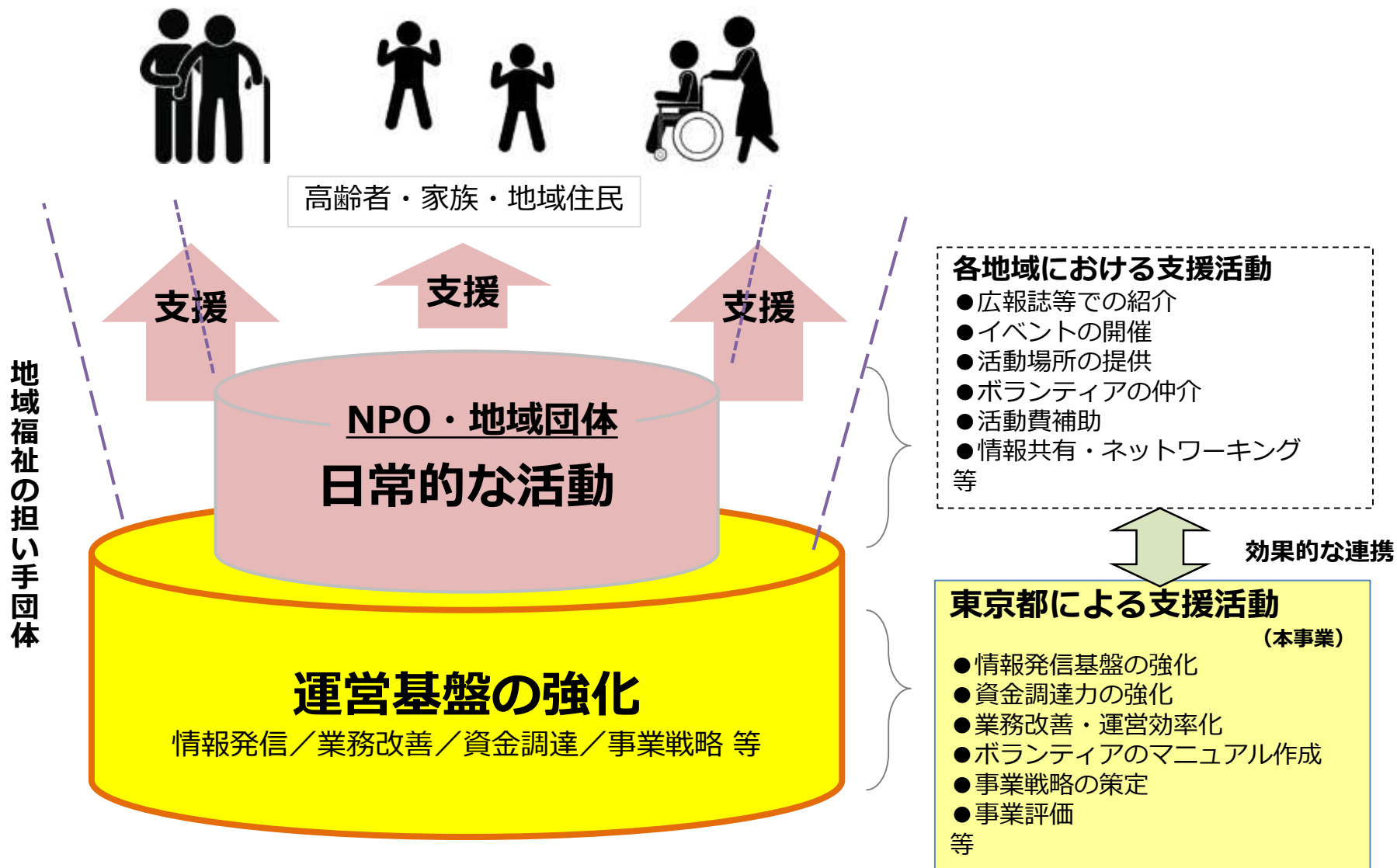
- 在宅系サービス
 - ・訪問介護
 - ・訪問看護
 - ・通所介護
 - ・小規模多機能型居宅介護
 - ・短期入所生活介護
 - ・福祉用具
 - ・24時間対応の訪問サービス
(小規模多機能型居宅介護
+訪問介護) など
- 介護予防サービス
- 施設・居住系サービス
 - ・介護老人福祉施設
 - ・介護老人保健施設
 - ・認知症共同生活介護
 - ・特定施設入所者生活介護など

地域包括ケアシステムは、
おおむね30分以内に
必要なサービスが提供される
日常生活圏域（中学校区）
を単位として想定

地域福祉の担い手である様々な団体等を支援します

本事業における支援の位置づけ

身近な各地域における既存の支援策と連携しながら、地域福祉の担い手となる様々な団体等に対して「**運営基盤の強化**」につながる支援を提供していきます。



2019年度の東京ホームタウンプロジェクト

地域団体への支援

企業人等ボランティアチームによるプロジェクト型支援（プロボノプログラム）

短期間ですぐに役立つ成果物を作成する「プロボノ1DAYチャレンジ」と、じっくり腰を据えて取り組む「ホームタウンプロボノ」で、団体の運営基盤強化につながる支援を提供します。

短期プロジェクト
「プロボノ1DAYチャレンジ」
2019年10月19日（土）本番開催

1カ月の準備期間+本番1日

中・長期プロジェクト
「ホームタウンプロボノ」
2019年8月～2020年2月頃予定

約2～6カ月間

※プロジェクト実施期間は支援内容により異なります

個人のライフシフト支援

ライフシフトプログラム

現役のうちから、地域活動やNPOに関わるヒント・事例を紹介するセミナー、地域団体の課題解決にチャレンジする体験型プログラムなど、「ライフシフト」の“はじめの一歩”となる機会を提供します。

地域デビュー応援
トークイベント

2019年7月 2回

地域の課題解決体験

3団体×3チーム
2019年8月末～約1カ月

スタディツアー

東京ホームタウンプロジェクト参加団体の活動現場を訪問するスタディツアーを実施します。**地域団体も個人も参加可能です。**

スタディツアー

2019年11月～12月
訪問先団体：3団体（予定）

①プロジェクト型支援：企業人等による「プロボノ」活用を推進

地域福祉の担い手団体に不足しがちなビジネススキルや組織経営力の向上を実現するため、企業人等による仕事の経験を生かしたボランティア、「プロボノ」の活用を推進していきます。

「プロボノ」とは？

プロボノとは、ビジネススキルや専門知識を活かしたボランティア活動を意味します。

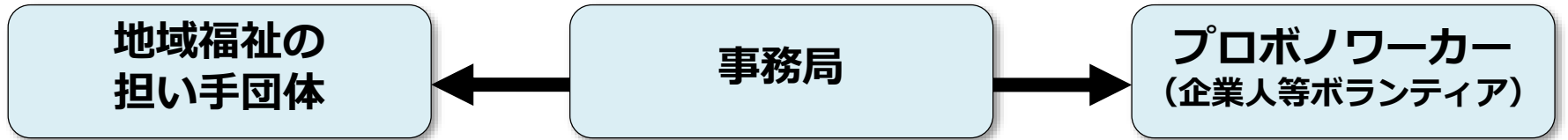
Pro	For	～のために
Bono	Good	善・いいこと
Publico	Public	公共的な

語源はラテン語のPro Bono Publico（公共善のために）という言葉です



①プロジェクト型支援で課題に応じた具体的な成果物を提供

プロボノによる支援が、地域福祉の現場において効果的に活用されるために、具体的かつ実用性の高い成果物の提供を目標とする「プロジェクト型支援」を行っていきます。



短期プロジェクト
「プロボノ1DAYチャレンジ」
2019年10月19日(土)開催
1カ月の準備期間+本番1日に限定したプロボノ体験型企画。短期間で実現可能な成果物の提供にチャレンジします。

中・長期プロジェクト
「ホームタウンプロボノ」
2019年8月～2020年2月頃予定
約2～6カ月の期間をかけて、支援先団体が必要とする運営基盤強化につながる成果物を提供します。

支援先団体の運営基盤強化に役立つ具体的な成果物を提供



これまでの実績と成果

2015年度～2018年度に実施した支援プロジェクトの成果をご紹介します。

支援先（延べ件数）

101団体
(34区市)

参加した
プロボノワーカー数

約520人

目標成果物の
達成率

100%

※ すべての団体に対して
目標としていた成果物を納品

2018年度 1 DAYチャレンジ

よかった
31%

非常によかった
69%

質問：参加して全体としてどうでしたか？

よかった
17%

非常によかった
83%

2017年度長期プロジェクト

支援先満足度

100%

※ プロボノの支援を受けて
「非常によかった」「よかった」と
回答した団体の割合

支援先団体の声

「自分の頭の中、パソコンの中に漠然と存在していたものが目に見える形に整理された」

「自分たちでは気づかなかった提案をいただき、目標達成に向けて今後の活動方向が見えた気がします」

「第三者の立場から新しい視点で支援を受けられるのは非常に効果的」

「団体内部ではなんとなく評価できない、確信にならない事柄が明確になった」

「新しい企画の実現に立ち向かう勇気を頂きました」

プロジェクト型支援による支援分野

プロジェクト型支援を通じて、以下の3分野を中心に、地域福祉の担い手団体のニーズに応じていきます。

『ボランティアを
たくさん集めたい!』

『もっと多くの人に
この活動を知ってほしい!』

『企業等と
連携・協働したい!』

分野①

情報発信・支援者開拓

広報や情報発信の重要性は感じていながら、日々の活動に忙しく、十分な労力を割けないでいる団体を対象に、パンフレットをはじめ広報ツールの制作をサポートします。

『一部の人に作業が
偏りがち!』

『マニュアルを作って
ノウハウを共有したい!』

『会計・経理などの処理が
スムーズに進まない!』

分野②

組織運営・会計経理

一部の人に作業が偏る、代表のノウハウが全体に共有されない、会計や経理の流れが整っていないといった組織運営上の課題解決を通じて、団体の可能性を高めることをサポートします。

『現状の取り組み・商品・
サービス等を見直したい!』

『団体の何が課題か?
まずは棚卸をしたい!』

『団体の活動意義を客観的
な形で外部に伝えたい!』

分野③

事業戦略・評価



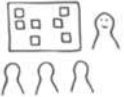

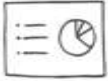
組織の目標を見直したい、現在の取り組みについての改善点を把握したい、活動を客観的に評価してほしいなど、今後に向けた検討材料を提供することで、活動の展開を応援します。

【ご案内】原則として、1つのプロジェクトで目標とする成果物は、1点に限らせていただきます。
また、1つの団体が同時に複数のプロジェクトによる支援を受けることはできません。

支援メニュー

分野① 情報発信系	支援内容	1DAY	中・長期
ウェブサイト制作 	団体の情報発信の要となるウェブサイトを一新することで、重要なターゲットに、必要な情報が伝わるようにしていきます。		●
ウェブサイト改善点整理	現在のウェブサイトの課題を洗い出し、団体のニーズに基づいてウェブサイトのブラッシュアップのための改善提案を行います。		●
団体紹介パンフレット	団体の活動を一目で理解してもらうような効果的なパンフレットで、利用者・支援者等の活動に対する理解を早めます。		●
募集チラシ・ポスター 	手に取ってもらえるチラシ、目に留まるポスターをどう作るか？ 現状のチラシ・ポスターをレベルアップ！（目安：A4両面）	●	●
Facebook・SNS活用 	FacebookをはじめとするSNSが急速に拡大中。Facebookページを立ち上げて「いいね！」を集める一歩目を踏み出します。	●	
クラウドファンディング企画	インターネットを使って寄付等を集めるクラウドファンディングに挑戦。人々の興味を引くようなプロジェクトを企画します。		●
外国語翻訳	外国人の住民・利用者に向けて、外国語での情報発信を通じて活動の国際化を、そして、多様な人々が共生する地域づくりを。	●	
営業資料 	企業等を訪問して協働事業を提案する際に使用する、説得力・訴求力のある資料を作成。資金調達のための重要ツールに！		●
映像 	言葉で説明するよりも、映像を見てもらえばあっという間に伝わることも。数分程度の団体紹介VTRを制作します。		●

支援メニュー

分野② 組織運営系	支援内容	1DAY	中・長期
会計・経理改善 	会計・経理実務の現状を把握し、課題点の抽出を行うとともに、最も優先順位が高い点について改善提案します。	●	
クラウドツール活用	Google、SkyDrive、Dropboxなどのクラウドツールを効果的に活用しながら、組織内の円滑な情報共有をサポートします。	●	
法務改善	利用者等に対する参加規約や同意書など、法務上の対応が必要な場面での、法務文書のひな型作成などを支援します。	●	
運営マニュアル 	一部スタッフのノウハウを「明文化」することで、多くのボランティアが活動を担える体制づくりを応援します。		●
寄付者・寄付金管理	寄付者に税制優遇が適用される認定NPO法人の取得に向けて、寄付金や寄付者の管理体制強化を応援します。		●
分野③ 事業戦略・評価系	支援内容	1DAY	中・長期
課題整理ワークショップ 	組織として課題と感じられていることを棚卸するとともに、それらの優先順位を整理し、次のアクションへとつなげます。	●	
スペース活用ワークショップ	施設、店舗、サロンなどを運営している団体を対象に、既存スペースや空き家等を有効活用するための施策案を検討します。	●	
アンケート活用入門 	実施したものの活用できていないアンケート結果のデータ活用法やより効果的なアンケートの作成方法などをご提案します。	●	
マーケティング基礎調査 	現状の商品・サービスの利用者・支援者等に対して目的を絞った調査を行うことで、効果的な改善方法等を整理・提案します。		●
事業評価	団体の活動の成果についての第三者的・客観的な視点から調査、数値的な評価を通じて、団体の活動意義や価値を外部に伝えやすくなるよう可視化します。		●

目的：支援先団体に役立つ具体的な成果物を短期間で提供



実施日程	<p>本番実施日 2019年10月19日（土） 10:30～17:00頃まで</p> <p>※ 本番約1カ月前からチームによる準備活動が始まります</p>
会場（予定）	<p>プロボノ活動：都内各地（団体活動拠点等） 成果報告会：都内予定</p>
支援先団体 件数	<p>10団体程度</p>
プロボノ チーム人数	<p>1チーム 4～6人程度</p> <p>※各チーム人数は、全体の参加人数や支援メニューにより異なります</p>

プロボノ1 DAYチャレンジ 支援事例

【チラシ・パンフレット制作】

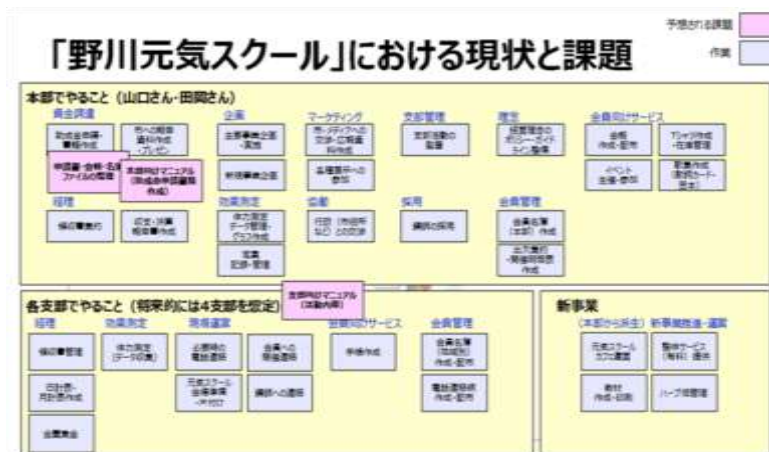


輝水会
医療者や専門職に向けた
活動紹介チラシ



みたか・みんなの広場
複数の団体から成るネット
ワークの活動紹介チラシ

【課題整理ワークショップ】



野川元気スクールグループ
団体代表の中だけにあった、さまざまな業務を洗い出し、課題を見える化。本部・支部での役割分担も提案

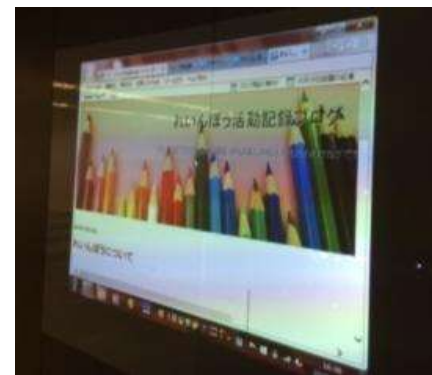
【SNS活用】



のがわの家運営委員会
「のがわの家」をもっと地域に知ってもらうため、ポスターとしても使えるチラシを作成



要町あさやけ子ども食堂
Facebookページと、わかりやすい使い方資料を制作



大洋社 ひまわり苑
さまざまな種類があるSNSのうちどれが団体に適しているかを提案し、その場でブログを制作



支援事例紹介① (プロボノ1DAYチャレンジ)

支援団体名：ボランティアさくら (立川市)

支援メニュー：チラシ制作

団体活動概要：

在宅療養をサポートする団体として立川市で活動。在宅療養中または在宅療養を始める方やその家族を対象とし、サポート介護施設や個人宅訪問の両方を活動基盤としながら、患者や家族の話し相手や、見守り、通院の付き添いなどのケア、サポートを行っている

課題：

在宅療養をされている方やその家族の潜在的ニーズは大きいと思われるものの、「さくら」活動の様子や価値が外からはわかりにくいという課題があった

プロジェクト成果：

- 既存チラシの要素の整理とともに、団体の方へのヒアリングを通し、団体が大切にしたい思いを表現
- 団体スタッフが今後も手を加えながら活用できるよう、チラシはPower Pointのデータで納品



メッセージが明確になり、活動紹介がしやすくなりました。この共同作業の達成感はこのからの活動に活かされると思います。



支援事例紹介② (プロボノ1DAYチャレンジ)

支援団体名：要町あさやけ子ども食堂（豊島区）

支援メニュー：Facebookページ&手順書作成

団体活動概要：

食堂“店主”山田さんが自宅を開放して月2回、子どもやその親が集う食事の場を提供。地域の一人暮らし高齢者が利用することもあり、多世代交流の場としても期待されている

課題：

スマホを利用してオンライン上で情報を得ているお母さんたちに向けて、また、他地域でも同様の活動を広げてもらうための情報発信手段としてFacebookページ作成を希望していた

プロジェクト成果：

- 「あさやけ子ども食堂」Facebookページ立ち上げとともに、山田さんが今後更新していけるよう、わかりやすいマニュアルも作成
- 2019年3月現在、2000件以上の「いいね！」獲得

エプロンをしてスカーフをかぶって、スマホの授業・・・楽しいひと時でした。どの団体にもフレッシュな風が吹いたのではないのでしょうか。



支援事例紹介③ (プロボノ1DAYチャレンジ)

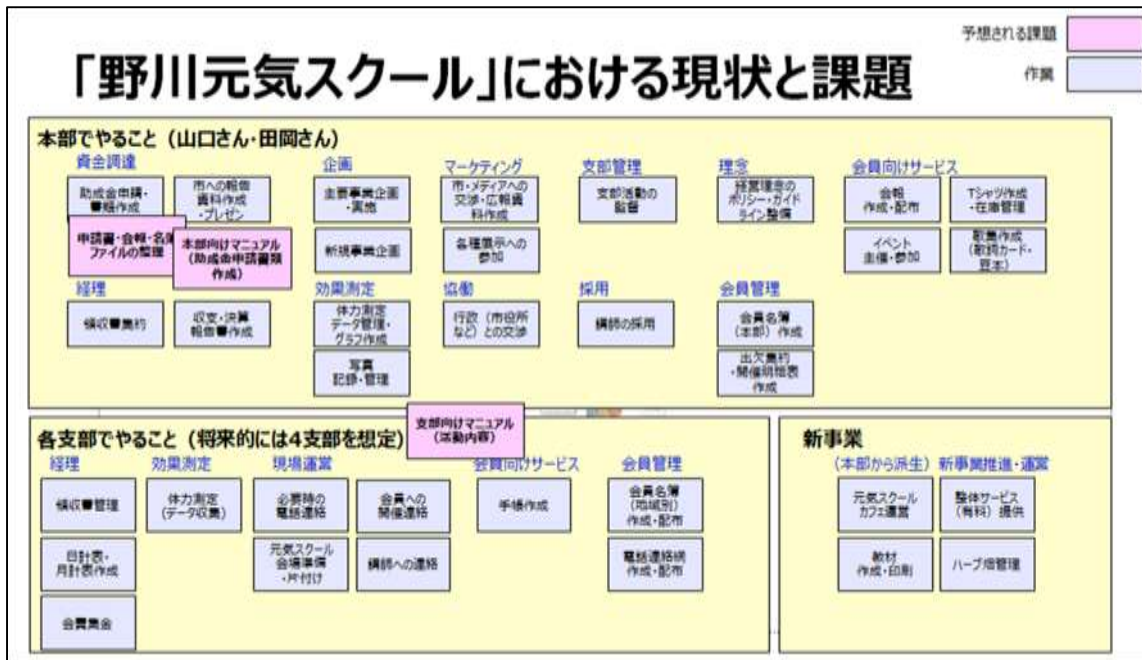
支援団体名：元気スクールグループ (狛江市)

支援内容：課題整理ワークショップ

団体活動概要：

2011年より、狛江市内の高齢住民を対象とした転倒予防体操教室を運営。専門講師のもと週1回、2グループで60人ほどの参加者が集まり活動

課題：体操教室を現在の2グループから増設を目指しているが、現状、運営業務は80代の団体代表+1名で担当している状況。今後の担い手の育成、本部・支部での業務分担計画等を早急に進めるため、業務の棚卸しと「見える化」が必要だった



プロジェクト成果：

- 聞き取りによって業務の洗い出しを行い、これまでは団体代表の中だけにあった、業務の数々をしっかりと“見える化”
- 団体内で無理のない運営をしているように考えた業務分担案と、検討すべき課題をチームから提示



真剣に応援して下さる方があることを知った時、「百万の援軍を得た」心境で、新しい企画の現実化に立ち向かう勇気を頂きました。

7月～8月 事務局による事前ヒアリング



8月末まで 支援内容の合意・決定



8月～9月 必要書類・参加同意書の記入



9月下旬～本番当日
チームによる事前訪問の受け入れや
問い合わせ・資料提供の依頼等へのご対応



プロボノチーム側は本番の約1カ月前に一度集まり、打合せをします。その際に支援先団体の皆さんに記入いただいた書類やパンフレットなどを資料としてお渡しします

10/19当日までの約1カ月の準備期間中に、団体の皆さんにチームから直接連絡を取らせていただきますので、ご協力をお願いします

プロボノ1DAYチャレンジの流れ② 10月19日（土）当日

10:00～10:30頃 プロボノチームが打ち合わせ場所に到着
※到着時間は訪問場所やチームによって異なります

プロボノチームが各団体の事務所や活動拠点にお伺いします

10:30～17:00頃 プロボノチームとの打合せ・成果物作成

- ・ 団体の皆さんへの質問やヒアリング
- ・ 成果物についてのディスカッション
- ・ 成果物の作成



事前にチームと相談の上、昼食を一緒にとるなどしていただきます

成果物納品・プロジェクト完了

チームから成果物をお渡しして完了。団体の皆さんの参加はここまでです

18:00～ 成果報告会（場所：都内会場を予定）

各チームの活動の様子や成果物を発表、全体で共有します



プロボノチームは全員集まりますが、団体の方のご参加は任意です。ご都合がよろしければぜひご参加ください

目的：団体の組織基盤を強化する具体的な成果物を提供



実施日程	2019年8月下旬～2020年2月頃
実施期間	支援メニューにより、2～6カ月程度 ※プロジェクト開始時期は支援内容により異なります
支援先団体 件数	5団体程度
プロボノ チーム人数	1チーム 5～7人程度 ※各チーム人数は、全体の参加人数や支援メニューにより異なります ※育休中などの女性たちによる「ママボノ」チームもあります

支援事例紹介① (ホームタウンプロボノ)

支援メニュー：印刷物（パンフレット）制作 東大和市介護予防リーダー会（東大和市）



【団体活動概要】

高齢者の健康を維持・向上させる取り組みとして、介護予防リーダーの育成を行っている東大和市。市による半年間の研修を受けて認定されたボランティアの皆さんが集まるのが「東大和市介護予防リーダー会」。2016年12月時点で88名が所属し、リーダー会のメンバーが市内で運営する介護予防の自主グループは18団体まで広がり、それぞれが活発に活動しています。

【プロボノの支援目的】

各グループの活動は活発でも、リーダー会の活動全体を紹介できるようなツールはなかったため、“一つのリーダー会”としての発信をしていくためのパンフレット制作に取り組みました。



【プロジェクト活動内容・成果物】

大所帯のリーダー会の中には様々な意見がありましたが、プロボノチームは打合せやヒアリングを通じて理解を深めながら丁寧に進行。リーダー会の活動は、市オリジナルの介護予防体操「東大和元気ゆうゆう体操」の他にも、「歌のひろば」「園芸」「サロン」といった多彩な活動に支えられていること、東大和市と連携していることなどがしっかりと伝わる、明るいイメージのパンフレットが完成しました。



支援事例紹介② (ホームタウンプロボノ)

支援メニュー：運営マニュアル作成 NPO法人 ドリームタウン (板橋区)

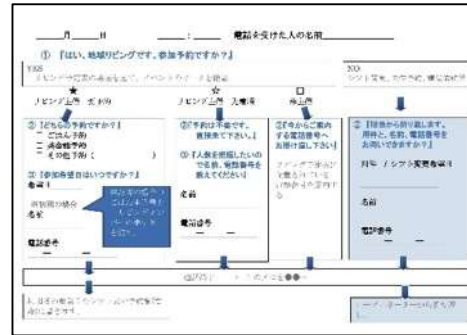


【団体活動概要】

高度経済成長期に建設され「東洋一のマンモス団地」として知られる板橋区高島平。高齢化が進み、一人暮らしの高齢者の暮らしをどのように支えるかが大きな課題です。そんな中、コミュニティカフェ「地域リビングプラスワン」を運営し、食を中心とした交流スペースを提供。多様な人がそれぞれの思いを持ちながら関われる場所を運営しています。

【プロボノの支援目的】

ボランティアが50人以上に上るようになり、自由な雰囲気を残しながら、関わる人同士が連携し、開かれた場所であり続けるために、コミュニティカフェの運営マニュアル作成に取り組みました。



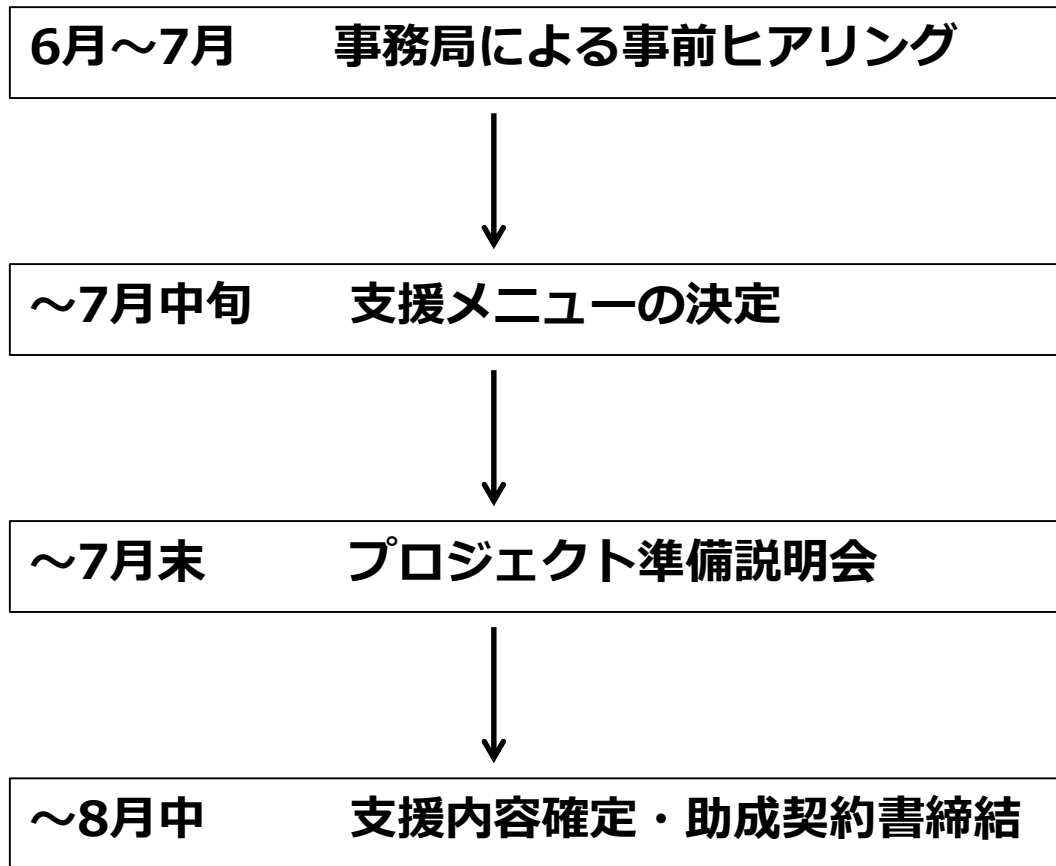
【プロジェクト活動内容・成果物】

活動見学やボランティアの方へのヒアリング調査などを通じ、プロボノチームは「地域リビングプラスワン」の価値を客観的に洗い出すとともに、課題を整理しました。

業務内容を細かく見直し、接客対応、衛生管理、備品の利用ルールなどをマニュアルとして言語化。ボランティアの皆さんが熱意を持ちながら、気持ちよく活動が続けていくための基盤づくりを応援しました。



中・長期プロジェクトの流れ① 支援決定～事前準備



支援が決定した団体を対象に、事務局による事前説明会を開催。プロジェクトの進め方や留意点等をご説明すると同時に、団体の皆さんからの疑問や不安等を解消するための場となります

プロボノチームの代表者が団体を訪問し、詳細な支援内容を相談します。双方合意の上で支援内容を確定し、事務局との契約書を締結します

中・長期プロジェクトの流れ② プロジェクト開始後～完了まで

プロジェクト期間
約2～6
か月

チーム編成完了後、プロジェクト開始

キックオフミーティング
(チームとの初顔合わせ)

ヒアリング期間

チームとのミーティング
(期間中 合計4～5回程度)

成果物納品・プロジェクト完了



プロジェクト期間中、プロボノワーカーは週5時間までを目安に活動を行います。キックオフ以降、チームとの打合せには、プロジェクトの窓口担当者だけでなく団体代表者の方もできるだけご出席ください



ヒアリングでは団体の内部スタッフや外部関係者、その他、団体の活動につながる方などをヒアリング先としてご紹介いただく場合がありますのでご協力をお願いします

プロボノプログラム 期待される効果

団体運営上の課題解決につながる、具体的な成果物が得られます

活動を広げたり、強化することに役立つ具体的な成果物の提供を通じて、団体の活動展開を応援します。

外部の視点を取り入れることで、活動の活性化につながります

企業等で活躍する人材との交流を通じて、スタッフやボランティアの活性化のきっかけをつくります。

他地域の地域づくりの担い手団体の活動を知るきっかけになります

今年度は約15団体を支援。東京の地域づくりを担う他地域の多様な団体の活動を知る機会にもなります。

専門的で質の高いサポートを、無償で受けることができます

ただし、ウェブサイトのサーバー費用、印刷物の印刷経費などの実費経費は、団体側の負担となります。

2019年度実施内容のご案内

対象となる団体

- (1) 高齢者支援を行う団体
- (2) 担い手が高齢者の地域福祉の活動団体

対象となる団体の種別

※個人の方、宗教団体、政治団体等は支援対象となりません。

- (1) 任意団体（市民活動団体）
- (2) 地域活動団体（町内会・自治会・老人会等）
- (3) N P O法人
- (4) 社会福祉法人
- (5) 各種公益法人（一般・公益社団法人、一般・公益財団法人、等）
- (6) 株式会社・有限会社等で地域福祉に関する公益的な取り組みを行っている事業者

2019年度実施内容のご案内

応募の流れ

1	4月～5月 説明会・事前協議	支援を希望する団体は、各区市町村・地域包括支援センター・区市町村社会福祉協議会等へ、本プログラムへの応募について事前にご相談ください。
2	～6月14日(金) 応募受付期間	応募内容が決まったら、「 <u>応募申込書</u> 」に記入して電子メールにてご応募ください。 ご応募をいただいた案件から順次審査を進めますので、早目のお申込をお待ちしています。
3	～6月末日 書類選考	申請内容をもとに支援の実施可否について検討します。 <u>採択基準については、別紙、支援先公募要領の「7 採択基準」を参照願います。</u>
4	～7月下旬 面接審査	上記書類選考を通過した申請について、個別に面接を実施し、団体の課題、支援ニーズ等について詳しくお伺いします。
5	～8月末日 結果通知	本プログラムによる支援の実施に関して、事務局による調整結果を申請団体の皆さまにお伝えします。



2019年10月19日(土) 開催
「プロボノ1 DAYチャレンジ」
(10団体程度)

※参加団体の皆さまは、本番当日は万障繰り合わせの上ご参加願います

2019年8月下旬～2020年2月頃
「ホームタウンプロボノ」
(5団体程度)

プロジェクト期間：約2～6カ月
※プロジェクト実施期間は支援内容により異なります

2019年度実施内容のご案内

費用について

本プログラムによる支援を受けるに当たって、直接費用が発生することはありません。

ただし、下記に示す費用は、支援を受ける団体側の負担となり、東京都や本事業の事務局が負担することはありませんので、あらかじめご了承ください。

【想定される費用】

- (1) アンケート用紙の印刷・配送等に係る諸費用（印刷費、郵送費等）
- (2) ウェブサイト構築支援の場合、ウェブサイト運営に係る諸費用
（サーバー費、ドメイン取得費等）
- (3) パンフレット・チラシ等印刷物支援の場合、印刷・配送等に係る諸費用
（印刷費、郵送費等）
- (4) 有償画像素材等の購入に係る費用
- (5) 打ち合わせ等の実施・参加における、公共施設等の有料施設を利用した際の
施設使用料
- (6) 打ち合わせ等の実施・参加における、団体関係者の交通費
（電車・ガソリン代・駐車料金等）
- (7) 打ち合わせ等の実施・参加における、団体側に発生した茶菓・飲食等の費用
- (8) その他、本プログラムの実施に関連して支出した雑費
（文房具代、消耗品費等）

2019年度実施内容のご案内

応募方法

応募締め切りは 6月14日（金） です。

東京都または東京ホームタウンプロジェクトホームページより公募要領・応募申込書をダウンロードし必要事項を記入の上、事務局宛に電子メールでのお申込みをお願いいたします。

●「東京ホームタウンプロジェクト」ホームページ

⇒トップページにあるご案内をクリック

<http://hometown.metro.tokyo.jp/>

問い合わせ先

本事業全般についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

【東京ホームタウンプロジェクト事務局】

認定NPO法人 サービスグラント（担当：柴岡・岡本）

東京都渋谷区渋谷1-2-10 中里ビル4F

電話：03-6419-4021 電子メール：tokyo@servicegrant.or.jp

【主管部署】

東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課在宅支援担当（担当：五郡（ごくん））

電話：03-5321-1111 (内線)33-551

東京ホームタウンプロジェクトとは

プログラム紹介

参加するには？

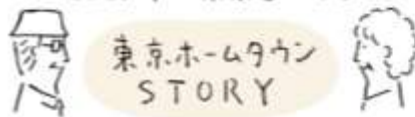
支援実績

東京まちかど通信

東京ホームタウンプロジェクトとは？



2025年の東京をつくる



東京ホームタウンプロジェクトの支援先、参加者、協力団体などをご紹介します。



「楽しい」から始める東京の地域づくり
2017年度総括イベント
「東京ホームタウン大学」開催レポート



歌って、動いて、笑って、楽しく介護予防

都内の地域団体・NPO対象

2019年度

プロボノ支援
参加団体募集中!

団体の運営に関する課題を解決!

詳細はこちら

説明会

5/22(水) 23(木) 6/14(金)

応募締切



区市町村・社協・地域包括支援センター対象

参加者募集中!

共創力アッププログラム

地域づくりの課題解決を支援

CLICK!



東京ふれあい医療生活協同組合
地域密着、在宅支援、自主活動。

85%



大田区社会福祉法人協議会
各法人の専門分野による相乗効果

73%

最新情報

2018.04.19

2018年度 プロボノ支援先団体 (地域団体・NPO) 募集 応募締切: 6月15日 (金)

2018.03.23

4/26 (木) 開催 2018年度 区市町村・社協・地域包括支援センター対象説明会 申込受付中

2018.04.17

5/23 (水) 24 (木) 開催 2018年度 地域団体・NPO対象説明会 申込受付中

2018.04.04

「わたしの時間」VOL.33を更新しました。

> 最新情報一覧へ



Facebook ページ

「いいね！」をお願いします!

